

Thank You! No.10

#30 (2018).1.19

変わり目!

「やりたいことやりたくないことやらされながら
理想と現実がごっちゃになっている日々
あの空とこの海が、ほら、分かれているように
交わらないものがあるってことさ」 STU48「暗闇」より



平成30年。そして、平成31年、みんなが高3になって間もなくの4月30日に平成は終わります。新元号はまだ決まっていますが、みんながもらう卒業証書に平成と書かれることはありません。私も高校生の時に元号が変わりました。昭和62年に入学し、平成2年に卒業しました。当たり前だった昭和が過去のものになったあの感覚。不思議な感覚でした。みんなもそんな時代の変わり目を生きていくことになります。

1月14日から17日にかけて2年生が修学旅行に行きました。行き先は北海道のルスツ高原と小樽市。出発日の早朝に伊丹空港まで見送りに行きました。生徒も先生もみんな少し高揚したいい顔をしていたのが印象的でした。週明けに登校してきますが「祭りのあと」のさびしさがいやでもやってくることでしょう。修学旅行は受験生へと生まれ変わるための儀式のようなものなのかもしれません。2年生は今、高校生活の中で最も重要な変わり目を生きています。みんなにとっては1年後のことです。

1月13日と14日に3年生の多くの人が大学入試センター試験を受験しました。大学入学を目指す人にとって重要な意味を持つ試験です。現在の形式のセンター試験は2年後、つまり、みんなが受験をする2020年が最後となり、翌年からは新しい形式になります。現在の形式の試験が始まったのは1990年です。当時高3だった私はセンター1期生の世代なのですが受験はしていません。しかし、私が高3の時に始まったセンター試験が、私が学年主任をしている学年が高3の時に終わるんだなぁという奇妙な偶然に対して感慨を覚えます。やっぱりみんなは時代の変わり目に生きています。

冒頭に紹介した歌はサビでこう歌われます。「夜よ僕を詩人にするな きれいな事では終わりたくない 生きることに傷つきうろたえて 無様でいたい」。

時代の変わり目に翻弄され、うろたえながら進む。たとえその現状が暗闇のように思えても目をこらしてみれば何かが見えてくるのでしょうか。

百人一首大会結果!

1月17日(水)の6限に行われた百人一首大会の結果です。今回は4人の班別での対抗戦でした。前日までの厳しい寒さが幾分和らぎ、さほど寒さを感じない中白熱した戦いが繰り広げられました。

上の句から札を取って盛り上がる姿が数多くみられました。子どものころから百人一首に触れていた人も多いのでしょうか。また漫画や映画の「ちはやふる」の人気もあり、百人一首というものが以前と比べて身近なものになったんだろうなと感じました。

結果は以下の通りです。

クラスの部

優勝 6組 (平均15.29枚・合計581枚)
準優勝 4組 (平均13.53枚・合計514枚)

班の部

優勝 4組3班 (83枚)
準優勝 3組1班 (82枚)
3位 6組10班 (81枚)

個人の部

優勝 4組 ○○○○ (74枚)
準優勝 4組 ○○○○ (52枚)
3位 7組 ○○○○ (51枚)



1・2月の行事予定

1月

20日(土) 進研模試
22日(月) 総合: 全校意見発表会(クラス発表)
24日(水)~29日(月) 3年生学年末考査
29日(月) 総合: 全校意見発表会(学年発表)

2月

9日(金) 漢字検定
15日(木) 特色選抜(生徒休業日)
22日(木)~3月1日(木) 学年末考査
28日(水) 卒業証書授与式 ※委員長と副委員長のみ出席

